

町長の
まち・ひと・しごと
魅力発信

～ 事業所訪問 vol.27 ～

「有限会社黒沢建築 ワイヤーロープ事業部」

町内には、優れた技術を持った会社が多く
存在します。事業所の持つ技術や
魅力を町長自ら訪問して、目で見、
お話を伺い、住民に情報発信する
「事業所訪問」を
連載します。

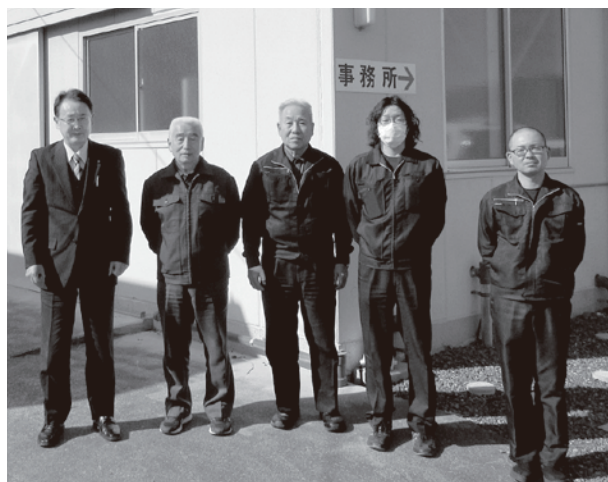
町長の見て・聞いて・話して

第27回の事業所訪問は、3月16日に有限会社黒沢建築ワイヤーロープ事業部を訪問し、黒沢嘉久社長にお話を伺いました。

有限会社黒沢建築ワイヤーロープ事業部は、平成27年(2015年)練馬区の隅田産業株式会社よりミニチュアワイヤーロープ事業全ての譲渡を受け、招致工場として、両神薄地内にミニチュアワイヤーロープの製造を行う専門工場として開設しました。

案内していただいた工場内には、隅田産業から受け継がれた機械設備をそのまま移設し、長年に亘り培った熟練技術者の指導のもと、自動機械等による大量生産ができない繊細な部分のカシメ加工や特殊な端末加工など、高精度の技術を必要とするワイヤーロープの加工作業が行われておりました。

製造されている主な製品は、医療機器の内視鏡用操作ワイヤーやカテーテルなど、繊細で柔軟性の優れた製品をはじめ、音響機器の吊りワイヤーやバイクの安全装置部分のワイヤー、産業ロボットの駆動ワイヤーなど多種多様な用途に使われているミニチュアワイヤーロープ製品です。



左から森町長・黒沢社長・山下工場長・田嶋業務主任・守屋工場長補佐

▶工場長からNC旋盤機械の説明を受ける森町長



使用できるため、産業各分野の発展には欠かせない部品になっています。そのワイヤーロープの可能性を更に広げるのが、ワイヤーロープの端末加工技術です。若手社員からベテラン技術者までの調和が保たれたワイヤーロープ事業部は、技術力向上に励むモノづくりの意識の高さが随所に見られました。

わが社の主力製品

昭和40年より培った加工技術は、お客様のニーズに確実に応えすべく、すべてがオーダーメイドです。正確で高精度、高強度の各種ワイヤーロープ端末金具加工は、お客様のご期待や信頼にお応えできる高品質の製品として、常に提供しています。



カシメ作業(上)と
端末加工作業(右)



ここに自信あり

わが社の加工技術における特徴のひとつは、関東地域では数少ない、端末部品の製造からカシメ加工まで、各種部品の一貫生産、強度検査、梱包までの工程を確立した、高水準な精密ワイヤーロープ加工を施せる専門の工場です。その高い技術力とハイクオリティを以って、事業を展開しており、各種端末金具の取り付けやカシメの間隔や形状等様々なニーズにお応えし、幅広いお客様から厚い信頼を得ています。

会社概要

代表者 代表取締役社長 黒沢嘉久

従業員数 12名

創業 平成3年4月

所在地 本社:小鹿野町両神薄34-1

ワイヤーロープ事業部:小鹿野町両神薄280

電話 本社:0494-79-0720